

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ とうきょうえんげきあんさんぶる		団体ウェブサイトURL
	有限会社 東京演劇アンサンブル		http://www.tee.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 津金洋子		
制作団体所在地	〒 352-0011	最寄り駅(バス停)	菅沢中央
	埼玉県新座市野火止3-16-24		
電話番号	048-423-2521		
ふりがな 公演団体名	とうきょうえんげきあんさんぶる		団体ウェブサイトURL
	東京演劇アンサンブル		http://www.tee.co.jp
代表者職・氏名	代表 志賀澤子(津金洋子)		
公演団体所在地	〒 352-0011	最寄り駅(バス停)	菅沢中央
	埼玉県新座市野火止3-16-24		
制作団体 設立年月	1954年12月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 津金洋子 取締役 小森明子		(構成員) 俳優部36人 演出部1人 制作部4人 (加入条件) (俳優部)入団試験により選考。運営委員会の推薦承認が必要。(制作部・演出部) 運営委員会の推薦・承認。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	太田昭
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	矢嶋敏恵
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	akira@tee.co.jp		

<p><b>制作団体沿革・ 主な受賞歴</b></p>	<p>1954年俳優座養成所の三期生を中心にした「チェーフ研究会」が劇団三期会として設立。演出家の故・広渡常敏を創造の中心として活動を展開してきた。1957年、紡績女子労働者たちに取材して集団創作した『明日を紡ぐ娘たち』を上演、社会的にも大きな反響を呼び、この作品が劇団の演劇論を支える核となる。<b>第一回岸田戯曲賞受賞</b>。1970年、劇団名を「東京演劇アンサンブル」と改称。1980年、練馬区武蔵関に拠点劇場「ブレヒトの芝居小屋」を構え、既成にとられない空間、演劇づくりを展開。このユニークなオープンスペースは、文化人の集う劇場としての機能を果たした。2019年諸事情によりブレヒトの芝居小屋を閉館、新座市に拠点を移し新たな稽古場・野火止RAUMを創造の源泉として活動している。1990年から定期的に海外公演を実施。これまでに11ヶ国22都市での公演を実現。日本の現代演劇を世界に紹介している。2006年5月、「ブレヒトの芝居小屋」の活動が高く評価され、<b>広渡常敏が倉林誠一郎賞を受賞</b>。<b>2007年3月、劇団が湯浅芳子賞を受賞</b>。 2006年9月広渡常敏の死後、代表は入江洋佑・志賀澤子に。2019年8月入江洋佑の死により代表は志賀澤子。 2019年より、所有者の都合により長年活動した「ブレヒトの芝居小屋」離れ、埼玉県新座市に移転。「野火止RAUM」として稽古場兼公演会場としている。コロナ禍でありながら、新座市内での活動も活発化し、2021年より野火止演劇クラブを発足し、年々参加者も増加し、地域に根差した活動を広げ、新座市近隣在住の子どもたちと演劇活動を継続している。</p>		
<p><b>学校等における 公演実績</b></p>	<p>学校公演上演作品(～1965年より～) いやいやながら医者にされ(モリエール 作)／強制結婚(モリエール 作)／グスコブドリの伝記(宮沢賢治 原作)／奇蹟の人(W・ギブソン 原作)／十二人の怒れる男たち(R・ローズ 脚本)／ジョー・ヒル(B・ステイビス 作)／真夏の夜の夢(シェイクスピア 作)／走れメロス(太宰治 原作)／木かげの家の小人たち(いぬいとみこ 原作)／夜の空を翔ける(広渡常敏 作)／銀河鉄道の夜(宮沢賢治 原作)／思い出のブライイトビーチ(ニール・サイモン 作)／テンペスト(シェイクスピア 作)／コーカサスの白墨の輪(B・ブレヒト 作)／国語元年(井上ひさし 作)／おんによる盛衰記(木下順二 作)／セチュアの善人(B・ブレヒト 作)／ラリー ぼくが言わずにいたこと(ジャネット・タージン 原作)／消えた海賊(広渡常敏 作) 近年では、小学校公演として、はらっぱのおはなし(松居スーザン 作)／おじいちゃんの口笛(U・スタルク 作)などがある 年間50～80ステージ程度の学校公演を実施しています。 ——学校公演ステージ数—— 2021年度 『消えた海賊』12ステージ(コロナ禍のため) 2022年度 『消えた海賊』34ステージ/『おじいちゃんの口笛』10ステージ 2023年度 『消えた海賊』『おじいちゃんの口笛』『千年ユニコーン』計59ステージ</p>		
<p><b>特別支援学校等における 公演実績</b></p>	<p>文化庁公演により 長崎・希望ヶ丘養護学校『走れメロス』 文化庁公演により 滋賀・甲良養護学校『走れメロス』 平成25年度、島根・出雲養護学校『銀河鉄道の夜』 ほか  ワークショップでは、東京都立石神井特別支援学校でのワークショップ実績あり。</p>		
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/Y7Aq6ShvNGw">https://youtu.be/Y7Aq6ShvNGw</a></p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

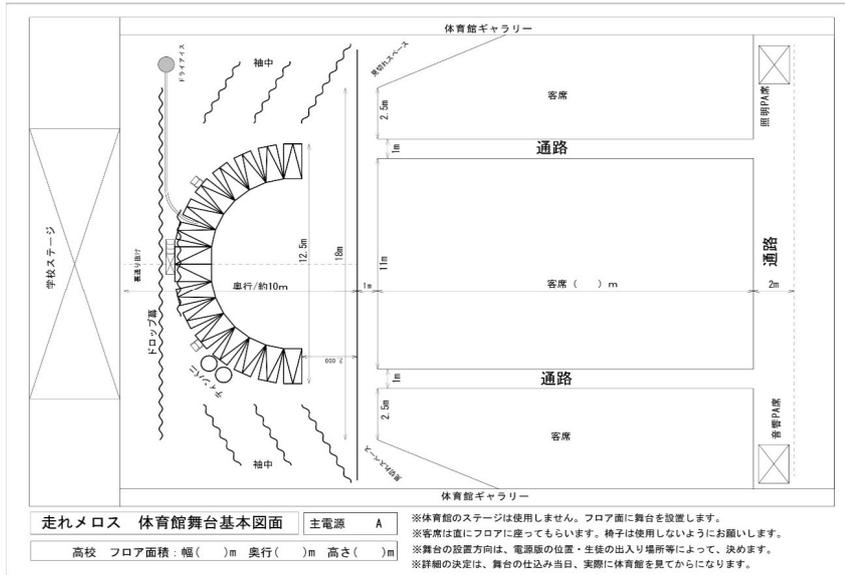
別添	なし
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京演劇アンサンブル】

対象	小学生(低学年)	-	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	走れメロス			
企画のねらい	東京演劇アンサンブルの『走れメロス』は、 <b>体感する演劇</b> です。それこそが、演劇がLIVEである醍醐味だと思います。メロスは体育館を目いっぱい走ります。原作にある物語に忠実に話は進むのですが、実際に描かれている場面が、児童・生徒の目の前で、全身を使って、走り、時に踊り、時に歌います。体育館を親友のために <b>走るメロスの足音が、床を伝わる振動が、そのまま観客に伝わります</b> 。作られた演技ではない、 <b>本物の俳優の肉体の芸術を体感</b> してもらいます。それは、どんなに言葉を尽くしても説明のつかない、大きな感動を生むこととなります。何かの本気で取り組んだり、夢に向かって行こうとすることが、恥ずかしいことではない、大切であることを伝えたいと思います。これまで上演した多くの学校からは、観劇後の児童・生徒の日常の過ごし方、考え方に必ず影響する舞台芸術という感想を頂いています。			
演目概要・演目選択理由	現在もなお中学校の教科書に掲載されている太宰治の名作。普遍的な友情、正義、葛藤、変化、成長など、 <b>人間が人間らしくあるための</b> 様々な要素が含まれている作品です。東京演劇アンサンブルでは、1990年代初頭の当事業の前身である「中学校へき地公演」から上演し続けてきた演目であり、 <b>長く定評のある作品</b> です。子どもたちが、自分がどんな大人になっていくのか、どんな大人になりたいのか、悩み、考えるハイティーンズの時期に、 <b>自ら生きる道を選択していく力を持つこと</b> は、必要不可欠です。メロスが選ぶ生き方は、誘惑のある南ではなく、友との困難な約束を守る北への道を進みます。自ら困難である道を取って選んでいく。なぜ、その道を選ぶのか。走り続けるメロスの姿から、そのことを考え、感じ取ってほしいと思い提案します。中学生には特に国語の授業と連動した作品として取り組んでいただきたい。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	①全校児童・生徒による群読：走り続けるメロスに向けて、その走りを鼓舞するように、太宰治の詩的な言葉を、全校児童・生徒の客席を4ブロック程度に分割し、順番に、劇的に群読していきます。 ②メロスの行く手を遮る、洪水、砂嵐などのシーンで、群読します。振りをつけての群読になるので、高い表現力が求められます。 ③劇中歌を歌います。公演まで練習が可能な選抜メンバーで実施することを基本としています。 ④学校の特色を踏まえて、打楽器などでの参加が可能であれば、参加していただけます。ex.和太鼓、ティンパニなど			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	500	
		鑑賞人数目安	500	

<p>本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付</p>	<p>作/太宰治 脚本/広渡常敏 演出/公家義徳 舞台美術/岡島茂夫 音楽/池辺晋一郎 衣裳/稲村朋子 振付/西田堯 大神田正美 照明/真壁知恵子 音響/田村恵 舞台監督/ 宣伝美術/長谷川集平 奥秋圭 制作/太田昭 小森明子</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>				
<p>出演者</p>	<p>メロス/セリヌンティウス 雨宮大夢 永濱渉 王様 浅井純彦 サラグ 永野愛理 ニサ 細谷巧 クロス 小田勇輔 戸澤萌生 三木元太 洪美玉 町田聡子 林亜里子 福井奏美 鈴木貴絵</p>				
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>演出:公家義徳 1994年東京演劇アンサンブル入団。俳優として『走れメロス』のメロス役や、『桜の森の満開の下』『ガリレイの生涯』など劇団の代表作の主演を担ってきた。前代表で創造的主柱であった広渡常敏の死後に演出を始める。ドイツ語圏演劇での演出に定評がある一方で、学校向け作品では、『ラリー』『消えた海賊』などヒット作を演出。2023年より『走れメロス』の演出を担当している。 出演:雨宮大夢 2012年東京演劇アンサンブル入団。2016年『消えた海賊』で初主演。2023年の千秋楽まで座長として全国公演を牽引した。近年の劇団公演で多くの主演を演じている。2023年には13代目のメロスとして『走れメロス』に主演、全国での学校公演ツアー中である。 出演:永濱渉 2014年東京演劇アンサンブル入団。10代から劇団に参加し、多くの劇団公演に出演。『千年ユニコーン』では、主演を演じ、ナイーブで内向的な少年を公演。『走れメロス』では、2024年よりメロス役に抜擢された。</p>				
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 12 名 スタッフ: 7 名 合計: 19 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 3.3 t バン 車長: 10 m 6m 台数: 1 台 1台</p>		
<p>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み 有</p>		<p>前日仕込み所要時間</p>		<p>3 時間程度</p>
	<p>到着 8:30</p>	<p>仕込み 8:30～13:00</p>	<p>上演 13:30～14:50</p>	<p>内休憩 なし</p>	<p>撤去 15:00～17:00</p> <p>退出 17時30分</p>
<p style="text-align: center;">※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。</p>					
<p>本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p>	<p>6月</p>	<p>7月</p>	<p>8月</p>	<p>9月</p>	
	<p>10日</p>	<p>5日</p>	<p>0日</p>		
	<p>10月</p>	<p>11月</p>	<p>12月</p>	<p>1月</p>	
		<p>10日</p>	<p>10日</p>	<p>5日</p>	
	<p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p>		<p>計</p>	<p>40日</p>	



参考資料 (QRコード)  
 東京演劇アンサンブル公演  
 『消えた海賊』体育館舞台  
 設営の様子  
 ※他作品になりますが、照  
 明機材の設置など参考にな  
 ります。



公演に係るビジュアルイメージ  
 (舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 東京演劇アンサンブル】

ワークショップのねらい	<p>太宰治の代表的な作品である『走れメロス』は、力強い文体でテンポが良く、また詩的でもあります。声に出して読むことで、いろいろな文体の特徴を実感できるようになります。限られた時間の中では、一人一人の指導にはなりません。群読として、声がそろったり、言葉から動きをイメージしたりということを体験してもらいたいと思います。</p> <p>演出的な効果として、「畳みかけるような群読」は、体育館を疾走するメロスを後押しすることになります。公演当日には、タイミングを逸することなく、作品のどの部分で参加することになるのかを理解してもらうことも重要なので、その部分も大切にしています。</p> <p>劇中歌に関しては、いわゆる学校での唱歌とは違う、気持ちを込めた、自由な歌い方で歌えることを目指します。表現力を重視したワークショップを実施します。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	500名まで
ワークショップ実施形態及び内容	<p>2時限を利用したワークショップを考えています。          主指導者1名、補助指導者4名、スタッフ1名</p> <p>1時限目(45～50分)          ①劇団紹介・自己紹介          指導者の紹介、劇団の紹介、作品の紹介などをします。          ②ウォーミングアップ          声が出るように、身体を動かします。全校で実施予定なので、人数は多いですが、演劇的要素の含まれたものと考えています。学校規模で変えますが、そのあとの群読につながるような、声が出やすくなるようなウォーミングアップを実施します。          ③群読          実際に台本の群読部分をみんなで読みます。客席を分割して順番にセリフを言うのですが、ただ、言うのではなく、走るメロスを鼓舞するようなシーンでもあるので、演劇的な要素を加えた群読になります。読むごとに、課題を増やし、体育館中が演劇的雰囲気になるように、指導していきます。参加型の醍醐味が味わえるよう、実施します。</p> <p>2時限目(45分～50分) ※場合によっては、昼休みや放課後の時間を利用          基本的に選抜メンバーでのワークショップになります。          劇中に歌われるソングの練習が中心になります。          学校で触れる歌とはまた違った雰囲気の劇中歌のため、詩の内容や、劇のどの部分での参加になるかなどを伝えます。          終盤では、参加のタイミングなど、公演本番に向けた指導に移ります。          選抜メンバーの人数にもよりますが、一部振り付きの群読を実施します。その練習も行うことになります。</p> <p>※学校によっては、打楽器などでの参加が可能な場合は、後半でその練習などをします。基本的には即興に近い演奏で、走っているメロスに合わせて、演奏してもらうという形になります。          時間に余裕がある場合は、演劇的なコミュニケーションワークショップも盛り込むことも可能です。</p> <p>すべて、公演当日リハーサルをします。練習で心配だった部分も解消できるように準備いたします。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>学校の特徴として、音楽に力を入れている、あるいは体験したいということがありましたら、打楽器での参加ができるようになります。事前にメールなどで打ち合わせをしたらうえで、ワークショップを実施したいと思います。</p> <p>場合によっては、2時限目を2か所に分けて、並行して実施します。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 東京演劇アンサンブル】
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>本事業で始めて、舞台芸術に触れる児童・生徒がいることが多くなってきています。東京演劇アンサンブルは、1960年代より、<b>学校での演劇鑑賞会としての上演を活動の軸</b>にしています。学校現場の状況を日常から様々な先生方からお話を聞き、<b>今、子どもたちに必要な作品は何か</b>を十分に検討したうえで、作品の提案をしています。</p> <p>本事業の特徴である、児童・生徒との<b>共演・体験は、他にない、特別で、魅力的なプログラム</b>であるといえます。わずかなシーンながらもプロと共演する機会はなかなかありません。ただ鑑賞するだけではない、特別な公演が、一生の思い出となるように、鑑賞しつつ、その妨げにならないような参加の仕方を熟考しています。東京演劇アンサンブルの『走れメロス』では、<b>参加することにより、作品がより良い質的変化が起こる</b>ような仕掛けとなっています。「祝祭性の芸術」とも言えるような、この参加・体験型演劇が、再現できない、上演校だけの唯一の、一瞬の芸術であり、そのために劇団、学校、ともに準備を重ねてこそ、成功することを理解し、それがまた感動につながることを体験していただきます。</p> <p>ワークショップおよび児童・生徒の参加を担当する劇団員は、劇団内での研修を実施しております。また、主指導者に関しては、年間を通じて活動している「野火止演劇クラブ」の講師であったり、自治体主催のワークショップ講師であったりと<b>経験豊富な指導者を中心に</b>据えています。事前の打ち合わせや、ワークショップで、学校独自の特徴が活かせるような提案もしています。</p> <p>また、日常の生活圏にある学校の体育館が1日にして劇場に変わります。<b>公共ホールと変わらない機材を持ち込み、質の高い空間を創出</b>しています。舞台芸術へのこだわりや、プロのアーティストの仕事に触れることは、貴重な体験になります。また、劇場空間に変貌した体育館で演劇体験をすることは、ほとんど小学生・中学生という年代でしか経験できません。参加型から垣間見える一面は、学校の姿を変えるだけでなく、<b>クラスメイトの普段見えない一面が見えてくることも魅力の一つ</b>です。祝祭的な芸術体験をすることで、そういった一面や、この取り組みを通じて変化する一面、そして終演後の<b>様々に違った感想などに驚き、感動し、出会い直しができるもの</b>また素晴らしい体験となります。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <p>事前の打ち合わせとして、日程調整後、決定後には体育館の様子や、学校の様子などがわかるようなアンケートを取らせていただきます。</p> <p>ワークショップ実施1～2か月前に資料をお送りします。これまでの本事業などで培ってきた経験をもとに、「実施にあたってのお願い」や「児童・生徒の参加について」などのマニュアルを配布しています。メールやFAXなどを使って、事前にいつでも質問などを受けられる状態にしています。学校の特徴である活動、例えば太鼓が得意である、などの相談があった場合、共演できるような調整もこの時点で行います。</p> <p>ワークショップ時に公演打ち合わせを実施します。体育館などの下見も綿密に行い、担当の先生方と実施日までの練習方法や、指導についての共有や、公演当日の詳細な打ち合わせを実施します。</p> <p>原作が中学校の教科書に取り上げられていることもあり、国語科との連携した指導ができないか、ということも検討していただきます。文学の魅力と、総合舞台芸術での立体化の違いは、個々で読む印象や想像との違いなどが、観劇後の感想や合評などで豊かに語られることとなります。</p> <p>公演当日も仕込時間の中で、担当の先生との打ち合わせを実施します。こちらは確認程度と、最終的な確認になります。</p>